

# 八幡平市

## 思い出の学校に別れ、平館高校卒業式



内沢校長から、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました

3月1日、県立平館高等学校（内沢英明校長、生徒327人）の卒業式は、同校体育館で多数の来賓と保護者が見守る中で行われました。

本年度の卒業生は、普通科家政科学科合わせて109人。式では、卒業生一人一人の名前が呼ばれ、内沢校長から直々に卒業証書が授与されました。

内沢校長は「粘り強い心、柔



3年間の思いを込めて校歌を歌う卒業生

らかい心、感謝する心を持ち、自分たちの未来へ向けて歩んでください」と式辞。田村正彦市長は「この3年間は、社会に出て生きていく上での大事な基礎。皆さんの力で八幡平市を盛り上げてください」と祝辞を述べました。

卒業生を代表して太田代竜次さんが「応援歌練習や文化祭など、学校生活を通じて成長することができたのも、支えてくれた皆さんのおかげです」と感謝の気持ちを答辞。

卒業生は、あふれる希望と校訓の開拓者精神を胸に、それぞれの進路へ向けて母校を旅立ちました。

安代地区の市博物館において、3月4日から春季企画展示「ひな人形と子どもたち」を開催しています。

ひな祭りや端午の節句などに飾られた、人形やこけしなどを幅広く展示。子どもが遊びや成長の過程で、人形を通して古くから続く風習や信仰に、どのようにかかわってきたのか紹介しています。

この企画展示は、市博物館1階の市民ギャラリーで、4月8日まで開催しています。



地域に残るさまざまな人形が展示されています

## 伝統に息づく人形と子どもたちの世界



約150人の市民が楽しい時間を過ごしました

市商工会青年部（工藤哲雄部長は、地域振興活動の一環として、3月4日に市総合福祉センターでウィンター・ドリームコンサート in 八幡平を開催しました。

盛岡シンフォニックウインドオーケストラが出演し、楽器の名前や特徴を説明しながら、青春の輝きやデイズニーマのテーマ曲メドレーなど親しみやすい曲目を演奏。参加者は、心ゆくまで音楽を楽しみました。

## みんなで音楽を楽しむ夢のコンサート